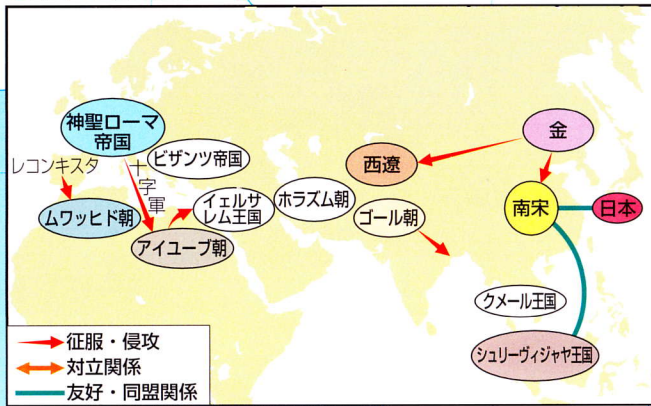




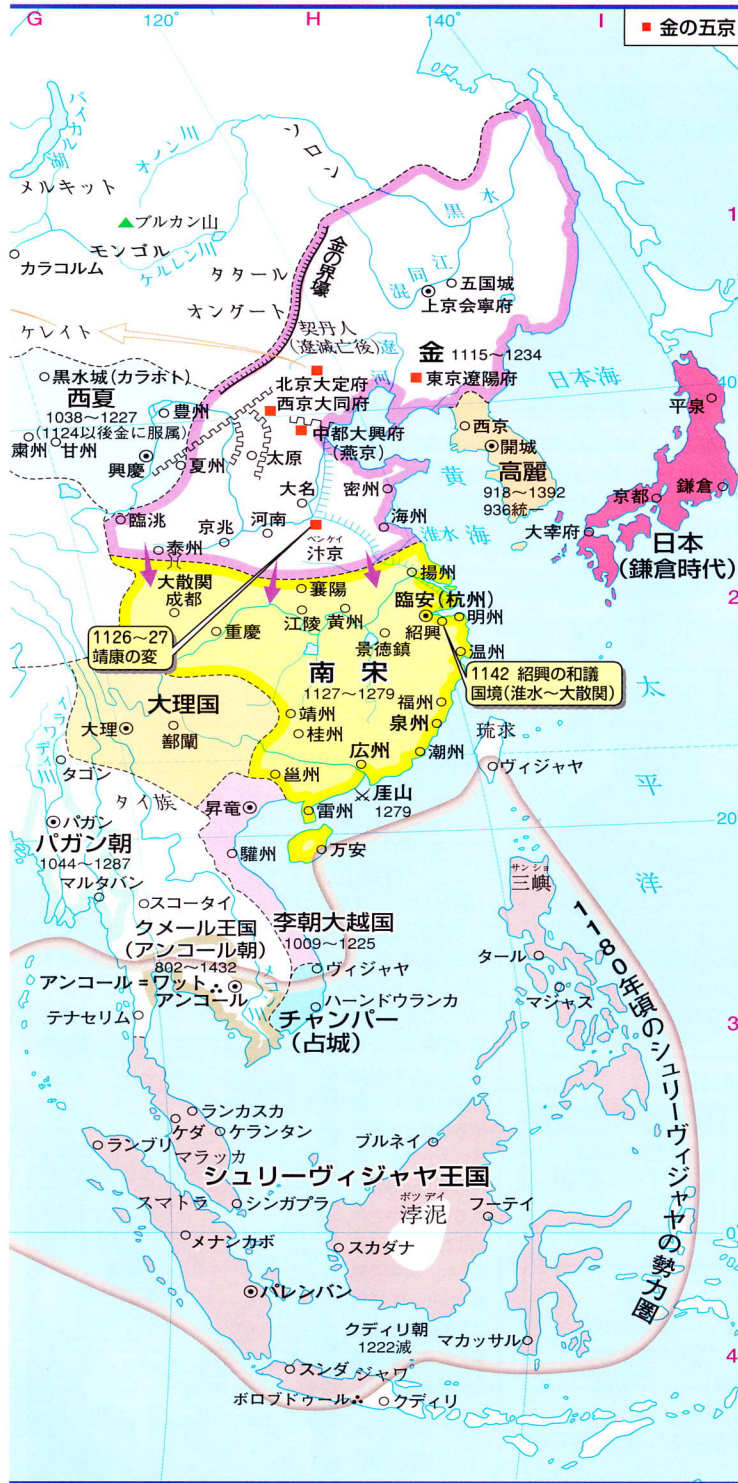
●12世紀の概観



①金が宋(北宋)を滅ぼし中華思想や冊封体制を否定
 ②イスラム世界は統一政権がなく分裂状態
 ③西欧は「12世紀の革新」の時代。農業生産力が高まり、十字軍運動によりローマ教皇の権威が強まる

世紀	11	12	13
西アジア	セルジューク朝	セルジューク朝	セルジューク朝
中東	ホラズム朝	ホラズム朝	ホラズム朝
北アジア	西遼	カラキタイ	ウイグル
東アジア	北宋	南宋	南宋
東南アジア	クメール王国	シユリーヴィジャヤ王国	シユリーヴィジャヤ王国
ヨーロッパ	神聖ローマ帝国	神聖ローマ帝国	神聖ローマ帝国
北ヨーロッパ	スウェーデン	デンマーク	ノルマンディー公国
南ヨーロッパ	アラゴン王国	カスティーリヤ王国	ポルトガル王国
アフリカ	ムワッヒド朝	ムワッヒド朝	ムワッヒド朝
インド	パルハダ朝	パルハダ朝	パルハダ朝
中国	宋	宋	宋
日本	平安時代	鎌倉時代	鎌倉時代



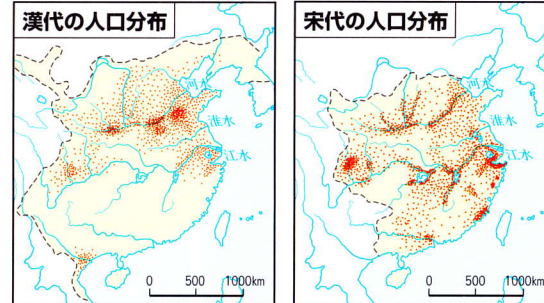


1 宋代の経済・社会

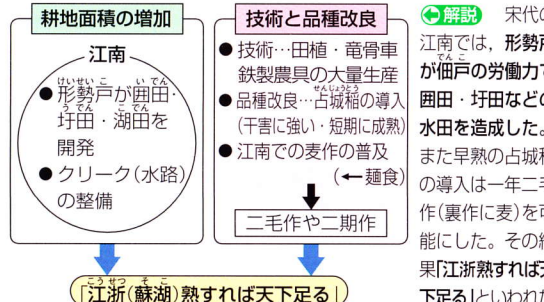


● **耕種図** 荘園での米造りの過程を順に描いたもの。右回りに、牛耕→田植え→除草→刈り入れ→脱穀→精米 のようすがわかる。電骨車は、低い水路から高い田地へ水を汲み上げる装置。幹人(地主のマネージャー)も描かれている。(伝楊威画(南宋))

2 江南の発展 A 人口分布の変遷



B 宋代の発展の背景

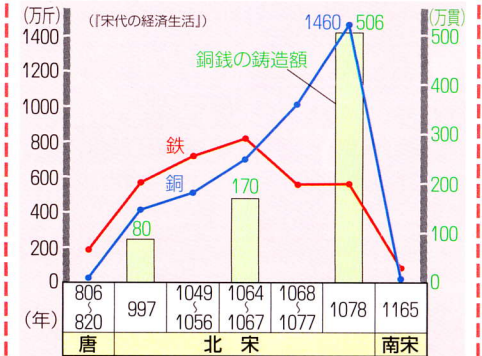


● 世界一の鉄生産と中華料理

「味は中国にあり」といわれ、世界に進出した中華料理は宋代に素地ができた。これは石炭を燃料とし、高熱でしかも持久する火力で煮つめる技術が基礎となっている。この高温の燃料(コークス)は、陶磁器生産や銅精練(→銅銭)、製鉄業(→鉄製農具の生産)にも活用された。



銅・鉄の産出量と銅銭



「江浙(蘇湖)熟すれば天下足る」